

共生社会ホストタウン追加登録団体の活動計画（2021年2月26日）

自治体名 (所在都道府県名)	相手国	活動計画
本庄市 (埼玉県)	トルコ (パラテコンドー)	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラテコンドートルコ共和国選手団の事前合宿受け入れにあわせ、小中学生を対象とした練習見学会、市民向けパブリックビューイングを予定している。地元ゆかりのパラアスリート小久保寛太選手（パラ陸上）は、母校である本庄特別支援学校で練習を続けており、在校生と日常を通じ交流をしているほか、各大会における小久保選手の壮行会も開催しており、今後も継続していく予定である。 <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業では、本庄新都心まちづくり検討会議による「個性あるまちづくり計画書」を作成し、本庄早稲田駅と本庄駅を結ぶ中央通り線（幅員30m）は、自転車道と歩行者道を分離し安全性に配慮した歩行空間の確保などユニバーサルデザインのまちづくりを推進している。2019年度には武道館のトイレ、シャワールームなどをバリアフリー改修したほか、2020年度には市内全小中学校校舎内トイレのバリアフリー改修工事を完了した。 <p>【心のバリアフリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲目の国学者「塙保己一」生誕の地として、視覚障害者スポーツである5人制サッカー（ブラインドサッカー）の東日本リーグ及び体験教室を毎年開催している。障害のある人の芸術文化活動を発信する「アートセッションin本庄」では、魅力あふれる作品を展示したほか、SNSでの情報発信も行った。2018年度から市職員を対象とした手話講座を開催しているほか、2019年度からは市民を対象とした手話講座を開催している。
田原本町 (奈良県)	グアテマラ	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年の東京大会後にグアテマラのパラリンピアンと事後交流予定である。2021年1月には町立図書館で心のバリアフリー啓発イベントを実施し、電動車椅子サッカー紹介パネルの展示や電動車椅子サッカー映画「蹴る」の上映等を行った。今後とも、地元障害者アスリート（電動車いすサッカー選手）との交流を行うなど、東京大会以降も継続した障害者スポーツへの理解の促進を行う。 <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン交流の拠点となる田原本町中央体育館では、2020年度にスロープの設置とトイレのバリアフリー化の工事を行う予定である。2018年から、交通弱者に対し初乗り補助のタクシーチケットを配布し移動を促す「タワラモトタクシー」の導入などに取り組み、高齢者や障害のある方への交通バリアフリーへの対応を進めている。また近鉄田原本駅、西田原本駅では、スロープの設置が行われ、車いす利用の乗客が多く乗り入れている。 <p>【心のバリアフリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上全町職員を対象に心のバリアフリー研修を行うとともに、町内にある奈良県心身障害者福祉センターにおいて、ポッチャ、フライングディスク、バレーボール等のパラスポーツの奈良県や地域大会が開催されてきた。また、2019年5月から役場窓口毎週金曜日は手話通訳者を配置し、手話に関するガイドブック作成やコミュニケーション支援ボードも作成し、聴覚障害者に対する支援を強化している。
大川市 (福岡県)	ペルー	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の福岡県民体育大会では、大川市の筑後川総合運動公園でソフトボール競技が行われ、同会場で知的障害者の部のソフトボール大会も開催した。2020年度にはペルーの文化や日常会話で使えるスペイン語を紹介するハンドブックを制作し市民等に配布し理解を深め、事後交流では東京大会に出場するパラリンピアン（パラ水泳）を大川市に招聘し、スポーツ交流を実施する予定である。 <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新中学校の建設時に、エレベーターの整備、多目的トイレの各階への設置、段差レス等のバリアフリー整備を行った。今後も学校のトイレのバリアフリー化等を促進し、大川中央公園はトイレ改修に伴い洋式トイレの設置を行う予定である。各校区に設置しているコミュニティーセンターでは障害者用の駐車スペースを設置している。 <p>【心のバリアフリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度にブラインドサッカーの体験を通じた「障害の社会モデル」の理解促進や車いす利用者の講演会を市内小学校にて開催し、他の小学校にもオンライン配信している。小学生が製作したリーフレットを今後の教材としても活用予定である。手話通訳派遣は、2020年度までは市内の社会福祉法人に委託していたが、2021年度より手話講座の基礎編までを修了した方が、奉仕員として聴覚障害者に同行し、病院や官公庁の手続き等で通訳活動をする予定である。